



# KU 神奈川大学 箱根駅伝選手名鑑

氏名  
① 学部・学科・学年  
② 出身地  
③ 出身校  
④ 自己記録



**安藤 駿**  
ANDO Shun  
主将  
①人科・人科・4年  
②秋田県 ③秋田工業  
④10000m成績  
29'43"51



**荻野 太成**  
OGINO Taisei  
副将  
①人科・人科・4年  
②静岡県 ③加藤学園  
④10000m成績  
29'17"50



**越川 堅太**  
KOSHIKAWA Kenta  
①人科・人科・4年  
②神奈川県 ③東京実業  
④10000m成績  
28'53"11



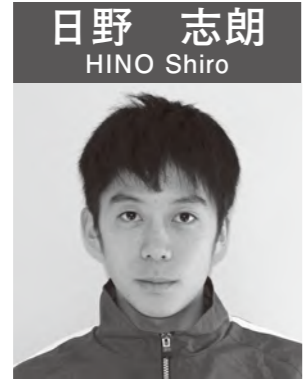
**古和田 響**  
KOWADA Hibiki  
副将  
①人科・人科・4年  
②京都府 ③綾部  
④10000m成績  
29'46"19



**宗 直輝**  
SO Naoki  
①経済・経済・4年  
②福岡県 ③鳥栖工業  
④10000m成績  
29'16"83



**長根 浩太**  
NAGANE Kota  
①人科・人科・4年  
②青森県 ③八戸学院光星  
④10000m成績  
30'23"86



**日野 志朗**  
HINO Shiro  
①経済・経済・4年  
②長野県 ③佐久長聖  
④10000m成績  
29'53"79



**藤村 共広**  
FUJIMURA Tomohiro  
①人科・人科・4年  
②愛知県 ③豊川工業  
④10000m成績  
29'19"65



**森 淳喜**  
MORI Junki  
①経済・経済・4年  
②広島県 ③広島皆実  
④10000m成績  
29'41"95



**安田 共貴**  
YASUDA Tomoki  
①人科・人科・4年  
②福岡県 ③大牟田  
④10000m成績  
29'26"20



**井手 孝一**  
IDE Koichi  
①人科・人科・3年  
②佐賀県 ③鳥栖工業  
④10000m成績  
29'25"83



**小笠原 峰士**  
OGASAWARA Takashi  
①人科・人科・3年  
②愛媛県 ③松山商業  
④10000m成績  
30'16"90



**菊池 夏規**  
KIKUCHI Natsuki  
①人科・人科・3年  
②神奈川県 ③東京実業  
④10000m成績  
29'49"02



**北崎 拓矢**  
KITASAKI Takuya  
①経済・経済・3年  
②大阪府 ③関西大学北陽  
④10000m成績  
29'27"09



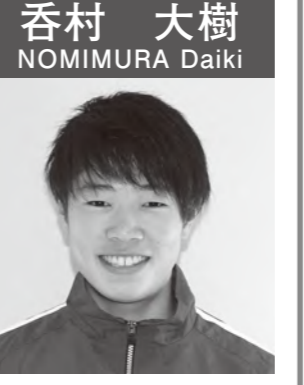
**原塚 友貴**  
HARAZUKA Yuki  
①人科・人科・3年  
②兵庫県 ③西脇工業  
④10000m成績  
30'24"50



**川口 慧**  
KAWAGUCHI Kei  
①人科・人科・2年  
②福井県 ③美方  
④5000m成績  
14'11"54



**西方 大珠**  
NISHIKATA Taiju  
①人科・人科・2年  
②静岡県 ③浜松商業  
④10000m成績  
29'54"35



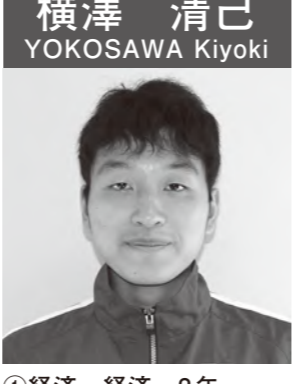
**呑村 大樹**  
NOMIMURA Daiki  
①人科・人科・2年  
②大阪府 ③大阪  
④10000m成績  
29'37"26



**淵田 凌一**  
FUCHIDA Ryoto  
①人科・人科・2年  
②高知県 ③高知農業  
④10000m成績  
30'34"49



**安田 響**  
YASUDA Hibiki  
①人科・人科・2年  
②岐阜県 ③益田清風  
④10000m成績  
29'54"29



**横澤 清己**  
YOKOSAWA Kiyoki  
①経済・経済・2年  
②神奈川県 ③新栄  
④10000m成績  
30'21"67



**島崎 昇汰**  
SHIMAZAKI Shota  
①人科・人科・1年  
②福岡県 ③大牟田  
④10000m成績  
30'11"74



**鈴木 玲央**  
SUZUKI Reo  
①人科・人科・1年  
②秋田県 ③秋田工業  
④5000m成績  
14'30"27



**古市 祐太**  
FURUICHI Yuta  
①人科・人科・1年  
②大阪府 ③関西大学北陽  
④10000m成績  
30'43"35

## 箱根駅伝に向けてのメッセージ

**神奈川大学長 兼子 良夫**  
日頃より、本学の課外活動に温かいご声援並びにご支援を賜り、誠にありがとうございます。2019年10月26日(土)の箱根駅伝予選会を総合2位で通過して、通算51回目となる箱根駅伝本大会出場が決まりました。当日は、早朝より多くの方が現地まで応援に駆け付けてくださり、多大なご声援をいただきましたこと心よりお礼申し上げます。また、選手諸君が、日々、苦しい練習に耐え、目標に向かって努力してきた結果を心から讃えたいと思います。

さて、全国が注目する最大の舞台である箱根駅伝本大会が近づいてまいりました。選手諸君は、この栄えある舞台において、強い心で思いを貫き「賞実剛健」、そして果敢に挑む「積極進取」の精神で、自らと仲間を信じ、クラウドブルーの誇りを胸に込めた「魂の走り」を、全国に知らしめてくれることを私たちは信じています。箱根駅伝本大会は、大学の総合的な力が問われる戦いになります。全ての神大関係者が一体となった「オール神大」で、選手諸君に、最後まで熱きエールを送って下さい。

**一般社団法人 神奈川大学宮内会長 久保 清治**  
陸上競技部駅伝チームの選手の皆様、箱根駅伝予選会を総合2位で通過し、通算51回目の箱根駅伝本大会への出場が決まりました。誠にありがとうございます。10月26日(土)に行われた箱根駅伝予選会では、全国から母校を応援するために予選会会場に足を運んでいただいた、あるいはテレビ等で応援いただいた宮内会員の期待に応えていただき、見事2位で予選通過となりました。

選手の皆様、箱根駅伝予選会を総合2位で通過し、通算51回目の箱根駅伝本大会への出場が決まりました。誠にありがとうございます。10月26日(土)に行われた箱根駅伝予選会では、全国から母校を応援するために予選会会場に足を運んでいただいた、あるいはテレビ等で応援いただいた宮内会員の期待に応えていただき、見事2位で予選通過となりました。

**神奈川大学体育会 会長 鈴木 優**  
選手の皆様、箱根駅伝予選会を総合2位で通過し、通算51回目の箱根駅伝本大会への出場が決まりました。誠にありがとうございます。10月26日(土)に行われた箱根駅伝予選会では、全国から母校を応援するために予選会会場に足を運んでいただいた、あるいはテレビ等で応援いただいた宮内会員の期待に応えていただき、見事2位で予選通過となりました。

## 2020 箱根駅伝 神大応援ポイント

- 東神奈川駅東口**  
往路 9時15分  
復路 12時00分  
J R 京浜東北線・横浜線 東神奈川駅徒歩3分  
京浜急行仲木戸駅徒歩2分  
スシロー・ガリバーが目印
- 戸部駅前**  
往路 9時30分  
復路 11時45分  
京浜急行戸部駅徒歩1分  
戸部警察署付近
- 保土ヶ谷駅前**  
往路 9時35分  
復路 11時40分  
JR 横須賀線保土ヶ谷駅東口徒歩1分
- 矢沢歩道橋付近**  
往路 10時00分  
復路 11時15分  
J R 東海道本線・横須賀線 戸塚駅西口徒歩15分
- 原宿交差点**  
往路 10時10分  
復路 11時05分  
J R 東海道本線戸塚駅西口・大船駅西口・藤沢駅北口より神奈中バス「原宿」下車  
ドン・キホーテ戸塚原宿店前
- 遊行寺**  
往路 10時25分  
復路 10時50分  
東海道本線・小田急線 藤沢駅北口徒歩15分
- 高砂交差点前**  
往路 10時30分  
復路 10時45分  
JR 東海道本線辻堂駅南口徒歩15分
- 茅ヶ崎第一中学校前**  
往路 10時45分  
復路 10時30分  
JR 東海道本線・相模線 茅ヶ崎駅南口より、茅ヶ崎公園野球場方面へ徒歩15分
- 湘南海岸公園付近**  
往路 11時00分  
復路 10時15分  
JR 東海道本線平塚駅南口徒歩15分、南口から海岸方面に直進し、134号線に突当った歩道橋付近
- 国府津駅前大磯寄り**  
往路 11時40分  
復路 9時25分  
JR 東海道本線国府津駅徒歩5分、駅から東京方面へ100m、のんき亭前
- 小田原 西湖法律事務所前**  
往路 12時06分  
復路 9時00分  
JR 東海道本線小田原駅東口徒歩15分、本町交差点より箱根方面に100m
- 箱根湯本駅前付近**  
往路 12時25分  
復路 8時50分  
箱根登山鉄道箱根湯本駅徒歩5分  
駅から東京方面に約200m

**お知らせ**  
みんな集まれ!一緒に応援しよう!!  
スタート地点とゴール地点にて、**チャリーディング**と管弦楽団による**応援活動**を行います。

**神奈川大学 陸上競技部 駅伝報告会 参加無料**  
日時/2020年1月16日(木) 18:00~ ●場所/神奈川大学横浜キャンパス2号館地下演習室  
右記アドレスにアクセスしてください。選手への激励メールお待ちしております。  
ジンダイエキデンサイト 検索  
<http://ekiden.kanagawa-u.ac.jp>

- 箱根駅伝の沿道での応援に関するお願い**
- 沿道で応援していただく皆様、箱根駅伝は育てられてきました。これからも、末永く愛される箱根駅伝でありたいと思っております。是非とも、応援マナーにご協力をお願いします。
- KORR 関東学生陸上競技連盟**
- 脚立を使った応援は危険です。
  - ガドールや橋など、沿道公共物への積置、旗、のぼり等をくくりつけることはできません。
  - 自動車、自動二輪車、自転車等の車両による応援は危険であり、交通渋滞を招きます。
  - 混雑緩和と、応援者の場所取りなどによる混乱を避けるため、スタート地点、フィニッシュ地点、中継所の前後100m以内では出場校を示す物は掲出できません。
  - 例) 校旗、部旗、その他、大学を標示する横断幕、旗、大学新聞の配布等。
  - 道路上での応援は危険です。必ず歩道から応援してください。
  - ヘルメットをお連れの方は道路に出ないよう、ご配慮ください。
  - 選手は歩道ギリギリを走りますので、歩道から手や身体を乗り出している応援は危険です。
  - コース周辺での無人飛行機(ドローン)の操縦、飛行、自撮り棒の利用はできません。

来年に箱根駅伝本大会を控える陸上競技部駅伝チームの監督を務める大後栄治監督に話を聞いた。大後監督は「今年は、絶対的なエースが不在であった。ただ予選会まで怪我も無く選手たちが練習を頑張ってくれた」と話してくれた。「箱根駅伝予選会当日は10月下旬とは思えない暑さだった。10km地点までペースを上げていた選手達の後半のペースに不安もあったが、前半頑張った選手達が後半、一杯の力で戦っていたので、応援していたら嬉しかった」とメッセージをくれた大後監督。悲願のシード権獲得を目指す陸上競技部駅伝チームを応援したい。

**箱根駅伝 本大会直前インタビュー**

陸上競技部駅伝チーム 大後栄治監督

箱根駅伝本大会に向けて「現状のレベルでは、箱根駅伝本大会では通用しない。まだ布陣が整っていないので、12月までには完成させていきたい」と話してくれた。箱根駅伝本大会は1・3区までが鍵になってくるので、シード権獲得の為に往路を10位以内で通過できるように調整していきたい」と語ってくれた。

最後に「今年も我慢の一年となっているが、一杯の力で戦っていたので、応援していたら嬉しかった」とメッセージをくれた大後監督。悲願のシード権獲得を目指す陸上競技部駅伝チームを応援したい。

箱根駅伝予選会を終え、箱根駅伝本大会に出場が決まった神奈川大学陸上競技部駅伝チーム。今後の戦い方と目標について安藤主将に話を聞いた。選手全員が自分のゴールに近づいてほしいと話し、プレッシャーを感じながらも、伸び伸びと走る姿に期待したい。最後に「今年こそはシード権獲得を目指す。その為に、往路を10位以上で通過を最低条件として、箱根駅伝本大会を乗り切りたい。沿道で応援してくれる方々、サポートしてくれる神奈川大学にも恩返しができるような走りを見せたい」と熱い想いを語ってくれた。クラウドブルーの輝きが今年も箱根路を駆け抜ける。

**箱根駅伝本大会に向けて!!**

陸上競技部駅伝チーム 安藤 駿主将

# 関東リーグ 昇格・復帰!!



## サッカー部 FOOTBALL

### 神奈川リーグを全勝で優勝!!

4月27日(土)〜10月26日(土)まで開催された2019年度神奈川大学サッカーリーグ(以下県リーグ)にて全勝優勝を果たし、関東大学サッカーリーグ2部への昇格戦に進出したサッカー部。11月23日(土)に開催された第52回関東大学サッカー大会昇格決定戦で山梨学院大学に2-1で勝利し、関東リーグ2部への昇格・復帰が決定しました。



昇格戦に向けて「緊張感もあるが、気持ちよくプレーできればどんな相手にも勝てるチームだと確信している。目標を達成できるように、チーム全体で戦っていき」と熱く語ってくれていた白井達也(経済・4年)。見事な勝利で、関東リーグ2部への昇格



一年ぶりの復帰を決めてくれた。心身ともに成長しているサッカー部は、サッカー以外の活動も充実している。県リーグを大事にしている。県リーグ戦にも春合宿先の千葉県鋸南町へ災害ボランティアを行うなど、積極的に活動を行っている。このように一つ一つの活動がサッカー部の原動力となっているのだらう。今後も成長していくサッカー部の活躍に期待したい。

## アメリカンフットボール部 AMERICAN FOOTBALL



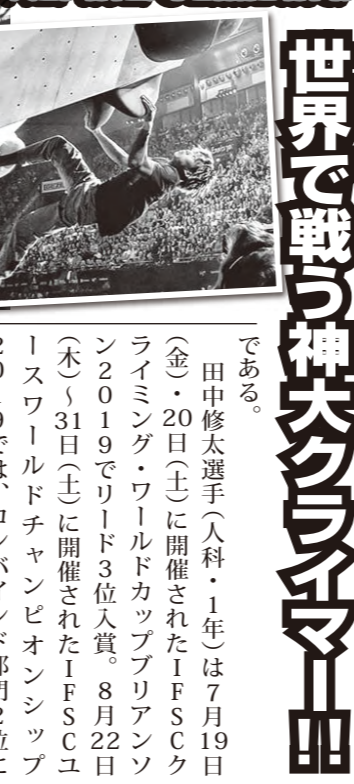
### TOP8に回りで躍進!!

9月6日(金)〜12月1日(日)に開催された2019年度関東学生アメリカンフットボールリーグ戦(リーグ戦)1部BIG8で戦っているアメリカンフットボール部A.T.O.M.s。創部初の1部TOP8を目指している。坂本アントニー・マウネイ(主将・現ビ・4年)は「春季オープン戦後は、リーグ戦に照準を合わせて練習に取り組んできた。相手チームを人念に対策してきたので、初戦の桜美林大学に勝利を取ることができた。2戦目は、強豪校である日本大学であり悔しくも敗戦したが、引けを取らずに戦える事がわかり自信となった」と話してくれた。毎試合を通じてチームの課題を得られるBIG8の戦いに、A.T.O.M.sは更に成長しているようだ。

現在の戦いの舞台である1部BIG8は強豪校がひしめくリーグだが「A.T.O.M.sは試合の流れに乗ったらどチームよりも強い。TOP8昇格には常に負けが許されない背水の陣なので、目の前の練習・試合をしっかりとやりきるしかない」と熱い思いを語ってくれた。

最後に「毎試合ごとにスタンドを見渡すと応援してくれる方が増えている。その人達の為に感謝の気持ちを持って、勝利という形で返したい」と話してくれた。悲願のTOP8昇格を目指し、ひたむきにアメフトに取り組むA.T.O.M.sの活躍に期待したい。

## 山岳部 ALPINE/CLIMBING



### 世界で戦う神大クライマー!!

日本のトップクライマーが集まる山岳部クライミング部門は、今年も好成績を残している。

緒方良行選手(人科・4年)は5月25日(土)・26日(日)に開催されたスポーツクライミング第2回コンバインド・ジャパノカップにて、総合5位入賞。8月10日(土)・21日(水)開催されたIFSCクラミング・世界選手権2019(以下世界選手権)では、ボルダリング部門で出場し14位の成績を取った。緒方選手は「今シーズンはボルダリングの調子が非常に良く、世界選手権は予選一位で通過することが出来た。しかし、準決勝では調子を發揮出来ず、14位で終わってしまった」と振り返る。緒方選手は、過去に世界チャンピオンにも輝いているので、メンタルコントロールで充分世界が取れる実力は兼ね備えている。今後も活躍が楽しみな選手である。

田中修太選手(人科・1年)は7月19日(金)・20日(土)に開催されたIFSCクラミング・ワールドカップブリアンソン2019でリド3位入賞。8月22日(木)・31日(土)に開催されたIFSCユースワールドチャンピオンシップ2019では、コンバインド部門2位に輝くなど、入学直後から好成績を残す選手である。「思い通りにいった戦いが出来たが、やはり課題は残った」と振り返る。好成績を残している中で、現状を満足していない姿に今後の期待が高い。

最後に、緒方選手は「来春には、東京オリンピック選考に関わる大会を控えているので、そこで優勝できるようにトレーニングを積み上げていく」と、世界チャンピオンに輝きたいと語ってくれた。

世界で活躍する山岳部クライミング部門の選手を今後も応援していきたい。

## スケート部スピード部門 SPEED SKATING



### 総合準優勝!!

10月26日(土)・27日(日)に開催された第92回日本学生氷上競技選手権大会ショートトラックスピードスケート競技(以下インカレ)にて、男子チームは、学校対抗男子5000mで齋藤駿選手(人科・2年)が2位入賞。女子チームは、学校対抗女子5000mで吉田風歩選手(人科・1年)が優勝するなど好成績を残し、男子・女子共に総合準優勝に輝いた。

阿部凌大主将(人科・3年)は「男子チームは3連覇を目指していたが、あと一歩で優勝を逃した悔しい思いを話してくれた。ただ練習してきたことは、後の大会では、しっかりと調整して活躍が非常に楽しみなことである。最後に、阿部主将は「個々の活動が多い中でも、主将としてしっかりとサポートしていきたい。来春こそは、インカレで男子・女子総合優勝を目指したい」と熱い思いを話してくれた。世界で活躍する選手たちを今後も応援していきたい。

## 男子バスケットボール部 BASKET BALL



### 1部残留決定!! 目指すはインカレ優勝!!

8月24日(土)〜11月10日(日)まで開催された第95回関東大学バスケットボールリーグ戦(以下リーグ戦)1部リーグで、1部残留が決定した男子バスケットボール部。12月9日(月)・15日(日)に開催される第71回全日本大学バスケットボール選手権大会(以下インカレ)に出場も決まり躍進中である。

河上大彦主将(国際経営・4年)は「リーグ戦は、8位以内・10勝以上を目標としていたが達成は出来なかった。苦しい状況でも1部残留が出来たのは、正しいと信じたことをやり続けてきたからと感じている。来春に向けて「シーズン初めに目標としていたインカレ優勝に向けて、泥臭いハードワークなプレーで一戦一戦全力を出し切っていく。必ず優勝したい」と熱い思いを話してくれた。今後も男子バスケットボール部の活躍から目が離せない。



女子バスケットボール部  
マネージャー 生方穂乃香

## マネージャー取材日記

緑の下の力持ち

今回のマネージャー取材日記は、学生に人気のスポーツの一つである女子バスケットボール部だ。マネージャーの生方穂乃香さん(国際経営・3年)は、高校時代はバスケットボール部の選手として活躍し、大学入学後、選手からマネージャーに転向することになった。マネージャーの役割は、選手をサポートすることだ。マネージャーは、選手をサポートすることだ。マネージャーは、選手をサポートすることだ。

## 指導者インタビュー



アメリカンフットボール部  
監督兼ヘッドコーチ 輪島 章司

今回の指導者インタビューは、アメリカンフットボール部A.T.O.M.sの輪島監督兼ヘッドコーチに話を聞いた。

輪島監督兼ヘッドコーチは「神奈川大学OBでもあり在学中はアメリカンフットボール部A.T.O.M.sの選手として活躍。卒業後は、社会人チーム「富士通フロンティア」での選手生活を経た後、社会人アメフトチームや小・中学生が行うフットボールのコーチを務めてきた。現在はA.T.O.M.sには2014年4月から監督として就任し、2016年4月から監督としてチームを率いている。

学生の成長を第一に、技術力の向上より人間力の向上を大事にしているという。人間力の向上は、選手自身が考える力を身に付け、アメフトへの取り組み、チームの在り方を常に意識することである。大学4年間のアメリカンフットボール部A.T.O.M.sでの活動を通して、技術力だけではなく、社会で活躍できる人材の成長と、更には企業側からA.T.O.M.sの人材が欲しいと言われたい。



課外活動団体へのご支援をお考えの皆様へ  
神大スポーツ・文化振興奨励金  
QRコードからアクセス



# インカレ女子総合 2年連続準優勝!! 8年連続 シード権獲得!



水泳部  
SWIMMING  
SEIKO

9月6日(金)〜8日(日)に開催された第95回日本学生選手権水泳競技大会(以下インカレ)にて、女子水泳チームは、古林穂奈選手(経済・4年)の100m背泳ぎ優勝、200m背泳ぎ2位を筆頭に好成績を残し、歴代最高点で2年連続の準優勝に輝き、8年連続でシード権を獲得した。

インカレで活躍をみせた古林選手は「昨年のインカレから、最後のインカレは優勝を掲げ練習に取り組んできた。多くの方のサポートとご声援があり、自己ベスト更新して100m背泳ぎで優勝することができたので、今後も結果で恩返ししたい」と熱く語ってくれた。女子チームの楯珠実新主将(経済・3年)は「昨年よりも得点を伸ばすことができたが、目標の日本一になれなかった」と悔しさを語る。男子チーム樋口陽太新主将(自治行政・3年)は「男子チームは、インカレのような全国大会でベストを出し切ることが出来ていない。ここが来期の課題である」と話してくれた。インカレを終え男子・女子共に、更なる成長を臨んでいる姿が

印象的であった。シーズンを終え樋口新主将は「より良いチームにする為に、今シーズンは環境創りに専念した。楯珠実新主将は、マネージャー経験もあるため、違った視点からチームをみる事ができる」と話した。神奈川大学水泳部では、マネージャーから主将になるのは珍しく、今シーズンは部全体で更なる成長が見込めそうだ。

最後に「今シーズンの目標は、男子チームがインカレでリレーの決勝レースへの出場。女子チームがインカレ日本一を目指す。またオリンピックイヤーであるので、選考レースに食い込める選手を多く輩出したい」と両新主将が熱く語ってくれた。今年も水泳部の活躍から目が離せない。

8月20日(火)〜23日(金)に開催された文部科学大臣杯令和元年度全日本学生選手権(以下インカレ)、グレコローマンスタイル72kg級にて、北條良真選手(国際経営・3年)が優勝。そしてグレコローマンスタイル87kg級では、奈須川良太選手(国際経営・2年)が優勝し、大会2連覇と最優秀選手賞を手にした。日本学生レスリング界の個人戦最高峰大会で、今年も神奈川大学レスリング部が大活躍だ。

北條選手は「練習してきた先制で点を取り、後半に守り切る形ができた。優勝したことで自信が湧いたが、あくまでも通過点と振り返る。北條選手は、日々練習前にビデオで強豪選手の技を観察し、レスリングに対して研究熱心で真摯に取り組んでいる。心からレスリングを愛しているのだろう。奈須川選手は「インカレ2日前まで、世界ジュニア選手権大会に出場していた為、コ



奈須川選手は大会2連覇 & 最優秀選手賞受賞!!

最後に、北條選手は「過去2回出場した天皇杯全日本レスリング選手権(以下天皇杯)は、いずれも準々決勝敗退という結果で終わってしまった。今年こそ優勝する」と話し、奈須川選手は「天皇杯で、東京オリンピック最終予選に進める2位までに入り、東京オリンピックの日本代表を目指したい」と語ってくれた。今後両選手を始め、神奈川大学レスリング部の活躍を応援していきたい。

北條選手は「練習してきた先制で点を取り、後半に守り切る形ができた。優勝したことで自信が湧いたが、あくまでも通過点と振り返る。北條選手は、日々練習前にビデオで強豪選手の技を観察し、レスリングに対して研究熱心で真摯に取り組んでいる。心からレスリングを愛しているのだろう。奈須川選手は「インカレ2日前まで、世界ジュニア選手権大会に出場していた為、コ



レスリング部  
WRESTLING

# 北條選手インカレ初優勝!!



文化系だより vol.23

華麗な踊りと音楽で、観る人を魅了するフラメンコをみなさんはどこまでご存知でしょうか。今回の文化系だよりはフラメンコ部ロスガトスのウハオ部長(現ビ・4年)に話を聞いた。

同部の特徴として、部員のほとんどが未経験であり、大学から始めた者が多いことだ。ウ部長は「日本の文化とは異なる、派手で華麗なダンスや音楽、そして周りを包み込む独特な雰囲気」に魅せられるという。実際に見学した方は、「楽しそうだからやってみよう」と興味を持ち、体験レッスンを行った上で入部に至るそうだ。ウ部長は「みんな初心者からのスタートなので、フラメンコを好きになってくれるかわからない難しさはある。ダンスはもともと、独特なリズムに慣れる事が出来るかなど大変なこともあるが、ゲーム形式で踊ったり、好きになってもらう



# 神奈川大学で フラメンコの世界へ

ロスガトス  
フラメンコ部

華麗な踊りと音楽で、観る人を魅了するフラメンコをみなさんはどこまでご存知でしょうか。今回の文化系だよりはフラメンコ部ロスガトスのウハオ部長(現ビ・4年)に話を聞いた。

同部の特徴として、部員のほとんどが未経験であり、大学から始めた者が多いことだ。ウ部長は「日本の文化とは異なる、派手で華麗なダンスや音楽、そして周りを包み込む独特な雰囲気」に魅せられるという。実際に見学した方は、「楽しそうだからやってみよう」と興味を持ち、体験レッスンを行った上で入部に至るそうだ。ウ部長は「みんな初心者からのスタートなので、フラメンコを好きになってくれるかわからない難しさはある。ダンスはもともと、独特なリズムに慣れる事が出来るかなど大変なこともあるが、ゲーム形式で踊ったり、好きになってもらう

最後に、ウ部長は「ロスガトスの踊りを観てくれている人を楽しんでもらえるよう、今後もしっかりと練習していきたい」と想いを語ってくれた。これからも観る人を魅了し続けるロスガトスの踊りを一度見に行ってみてはいかがだろうか。